

会 議 要 旨

会議名	館山市図書館協議会
開催日	令和8年2月10日（火）
開催場所	館山市図書館
出席者	委員：秋山里和、川名真依、金房努、齋藤 実、生稲裕美、 波佐間美和子、関 和美 教育委員会：石井教育長、三浦教育部長、内堀生涯学習課長 庄司図書館長、鈴木管理係長、渡邊主事
公開・非公開の別	公開 ☐ 一部非公開 ☒ 非公開 ☐
非公開の場合の理由	「2 図書館移転の今後について」は現在調整中であり、内容が確定していないため
傍聴者	0 名
会議概要・結果等	【会議概要・結果等】 1 開会 2 あいさつ 石井教育長 3 議事 （1）館山市図書館基本的運営方針について（資料のとおり） 〔説明：図書館 庄司図書館長〕 （2）図書館の今後について（非公開） 〔説明：図書館 鈴木管理係長〕 （3）その他 〔質問・意見等〕 ＜館山市図書館基本的運営方針について＞ ○アンケートの結果が50代以上の方が圧倒的に多い、若年層に向けた図書館運営ができないのではないか。 ⇒令和8年度の図書館協議会までに若年層のアンケートを実施し反映させる。 ○アンケートを3年間分まとめたのはなぜか。複数年のアンケートにすると、同じ人が複数回答してしまい、データとしては適当でないのではないか。 ⇒今後は単年度で実施する。 ○P17の数値目標について、図書館の資料貸出点数について、160,000点、「1人あたり4冊」という、根拠を教えてください。 ⇒館山市の貸出点数が1人あたり2.6冊と利用が少ない。県内の平均的な値に合わせて4冊とした。

	○相互貸出の利用についての統計はあるか。 ⇒館山市は、約９００冊借りていて、他市に約５００冊貸している。 ○運営方針で今回加わった「にぎわいのある図書館」は、すごく良い。図書館は静かに本を読むだけでなく、みんなの楽しみの場であって良い。 ○「にぎわいのある図書館」を加えたのであれば、目標についても、総合的な満足度や貸出点数だけでなく、目標を増やした方が良い。 ⇒イベント数などを目標に加える。 ○「親しみのある図書館」の読書貯金通帳は、他市では、本物の通帳の形のものがある。そういうものだと魅力を感じる。また、学校で郷土についての調べ学習があるので、子ども向けの郷土資料の収集をお願いしたい。 ⇒読書貯金通帳については、他市のものを調べておく。 ○図書館をより多くの方に利用してもらうための工夫も大切だが、読書活動を支援する司書も大事にしていきたい。 <図書館の今後について> ◎非公開 <その他> なし 4 閉会
--	--